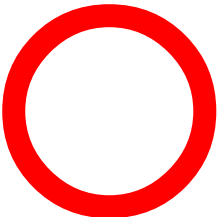


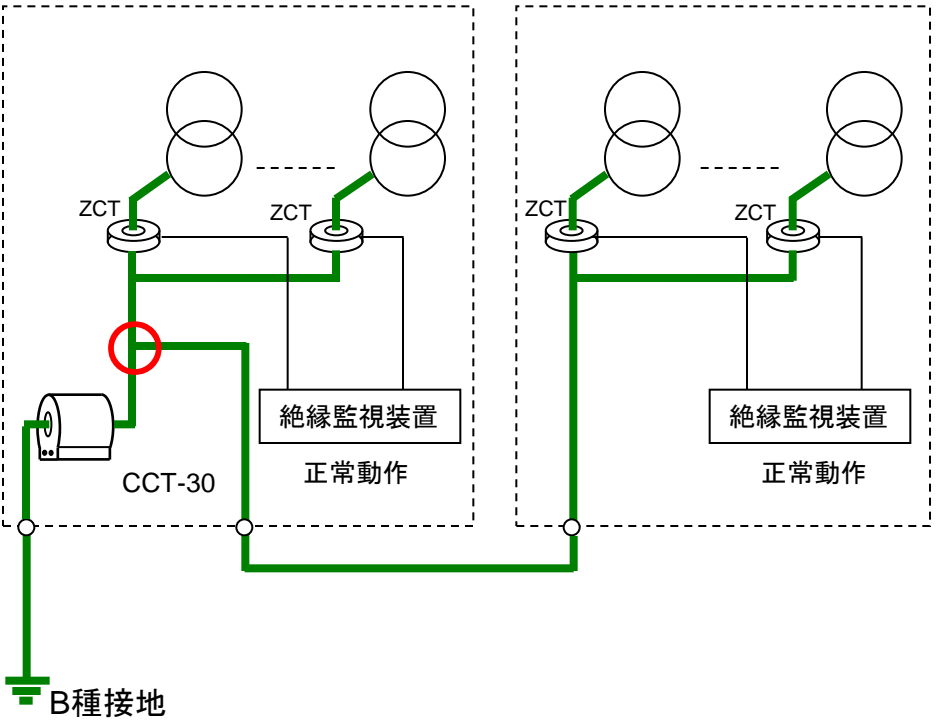
絶縁監視装置誤配線事例001

重畳用変成器CCT-30が1台の場合にはB種接地線の分岐点より接地極側に設置してください。
基準電圧信号が監視装置に取込めずキュービクルBで異常警報が発生します。



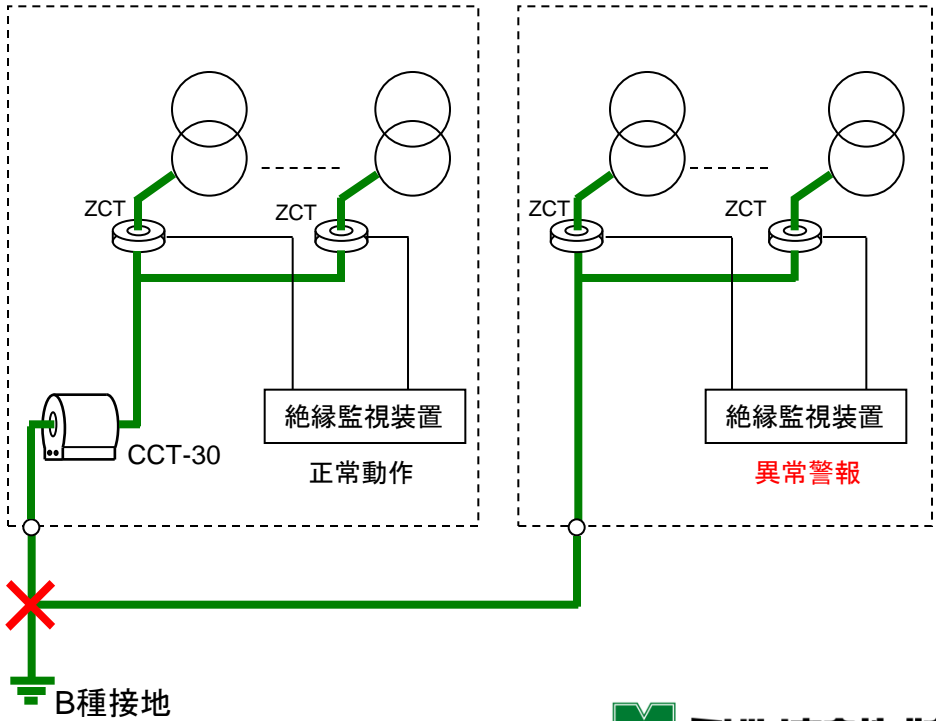
キュービクルA

キュービクルB



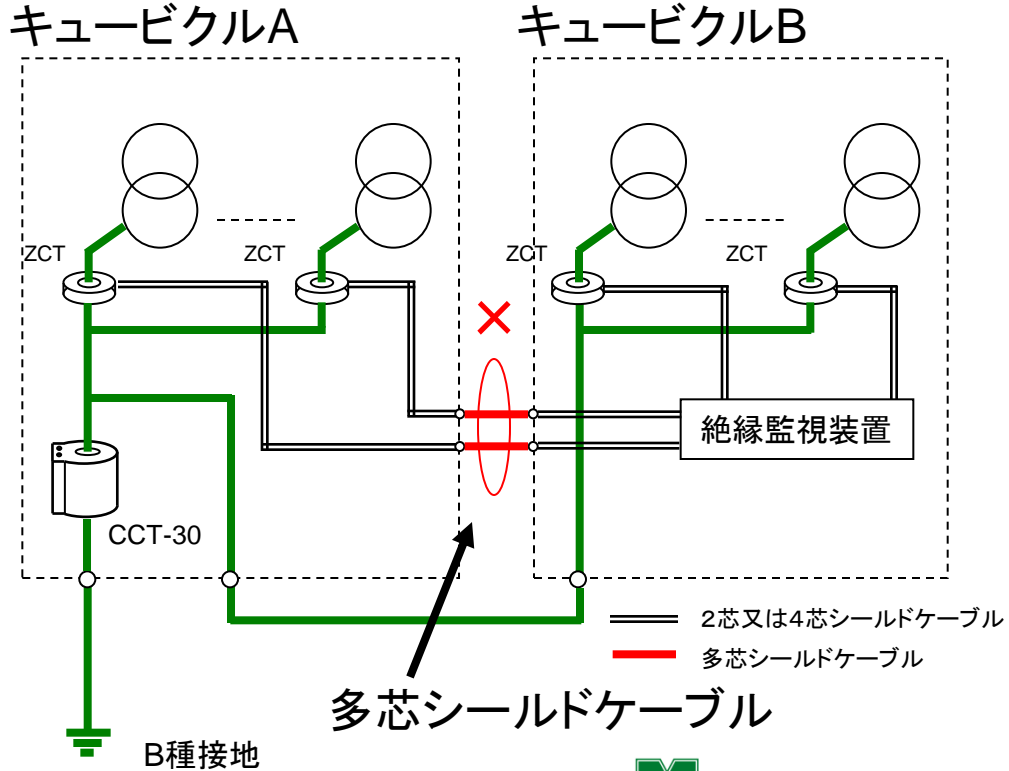
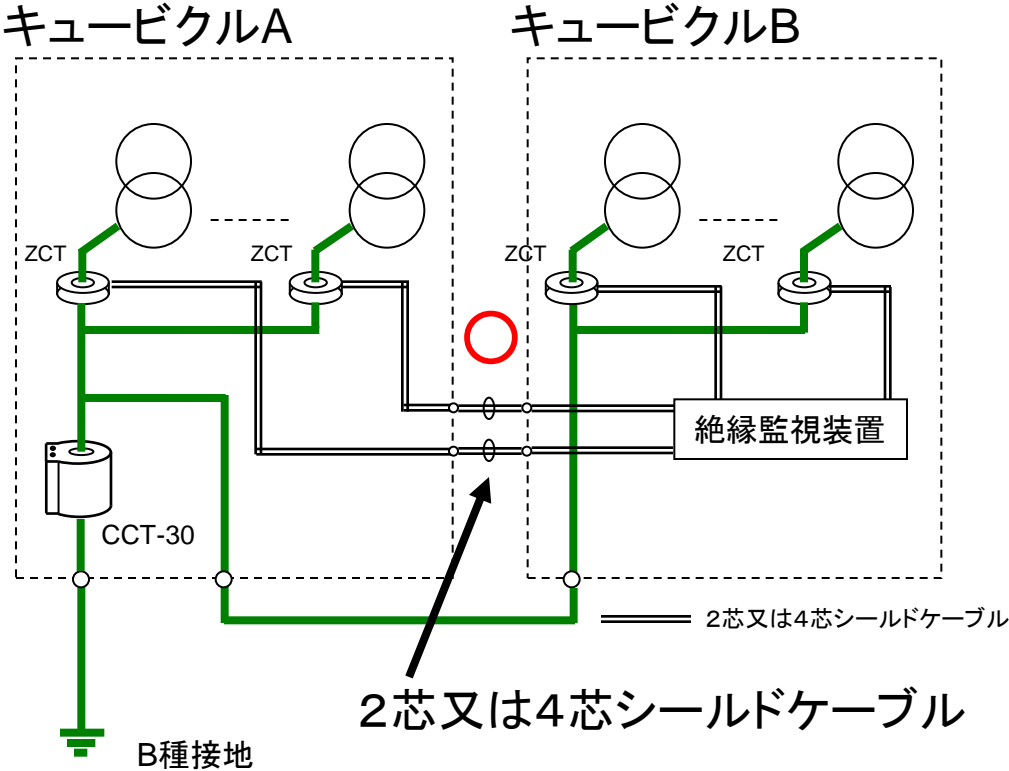
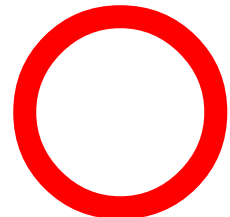
キュービクルA

キュービクルB



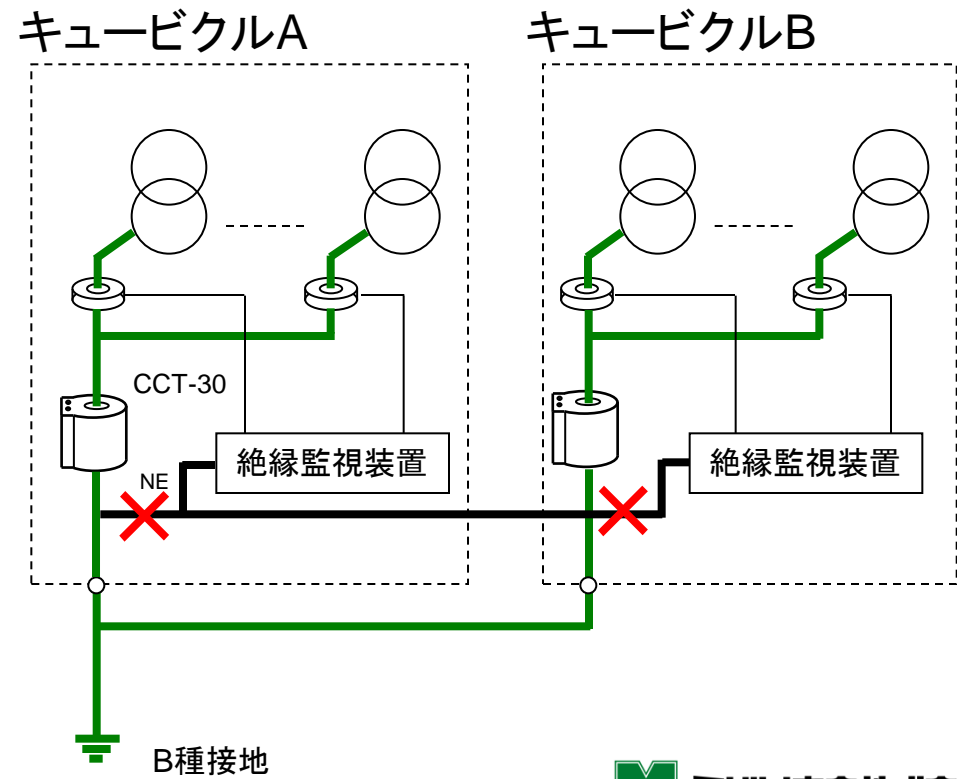
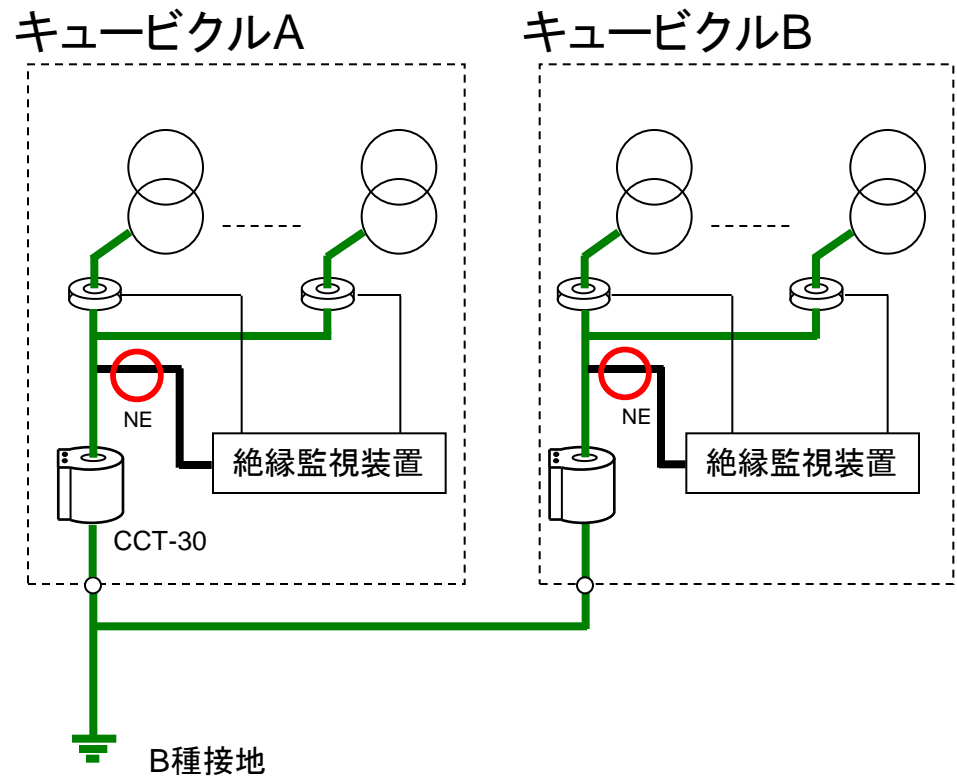
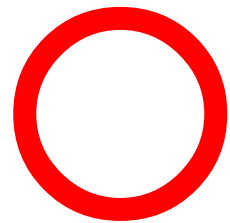
絶縁監視装置誤配線事例002

ZCT-絶縁監視装置間には全ての区間において多芯ケーブルを使用しないでください。計測値に誤差を生じる可能性があります。ZCT-絶縁監視装置間の配線は4芯シールドケーブルまたは2芯シールドケーブル×2本となります。



絶縁監視装置誤配線事例003

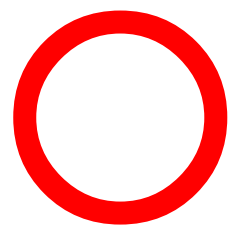
基準信号取込端子NEはCCT-30より負荷側に接続してください。
また、電圧発生器が複数台設置されている場合には監視対象に加えられている基準電圧信号を
対象ユニットのNE端子に接続してください。正常に動作いたしません。



絶縁監視装置誤配線事例004

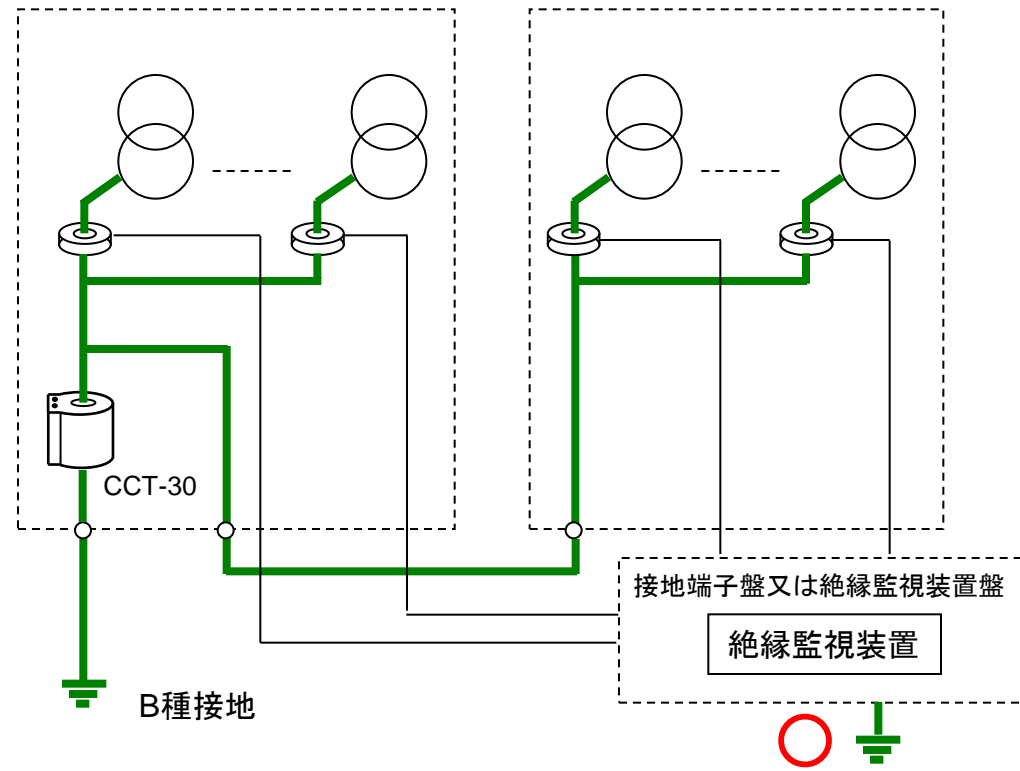
絶縁監視装置を専用の収納盤に設置した場合や接地端子盤などに設置した場合には必ず盤を接地してください。

基準信号が取込めず異常警報や測定精度不良が発生します。



キュービクルA

キュービクルB



キュービクルA

キュービクルB

